

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

家庭用

カーボントースター YTSC-C120



もくじ

- 安全上のご注意…………… ①～③
- 知っておいていただきたいこと…… ④
- 各部の名称…………… ⑤
- 使いかた…………… ⑥
- 調理のポイント…………… ⑦
- お手入れ…………… ⑧
- 故障かな?と思ったら…………… ⑨
- 仕様…………… ⑨
- アフターサービスについて…………… ⑩
- 保証書…………… 裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社カーボントースターをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOKを
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取扱いをしたときに傷害または物的損害のみに結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

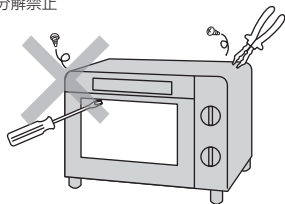


警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

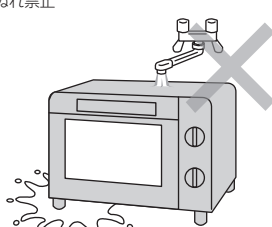


火災・感電の原因になります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

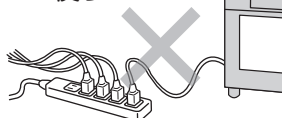


ショート・感電の原因になります。



交流100V
15A以上

電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う



交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と併用すると発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わない

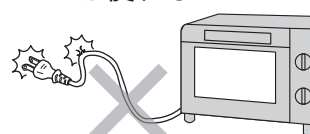


感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいときは使わない



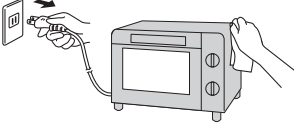
感電・ショート・発火の原因になります。

⚠ 警告



プラグを
抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行う

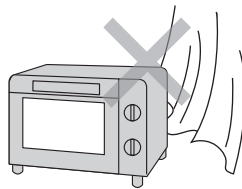


感電・けが・やけどをすることがあります。



禁止

カーテンなど可燃物の近くで使用しない

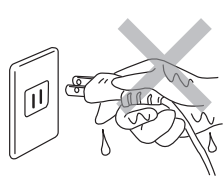


火災のおそれがあります。



禁止

電源プラグを濡れた手で抜き差ししない



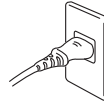
感電の原因になります。



根元まで
差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



ホコリを
とる

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



プラグを
抜く

異常時(焦げくさいにおい・電源コードやプラグが異常に熱いなど)は運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを
抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



禁止

●調理物が発煙・発火したときは扉を開けない

- ・すぐにタイマー（電源スイッチ）を切り、電源プラグを抜いてください。
- ・炎が消えるまで扉を開けないでください。空気が入って炎が大きくなります。
- ・水をかけないでください。ガラスが割れてけがの原因になります。

●必要以上に加熱しない

●壁や家具の近くや水のかかる場所、火気の近くで使わない

設置は、4ページを参照してください。

●紙やプラスチック、シリコンなど熱に弱い容器を入れない

発火ややけどを
防ぐために

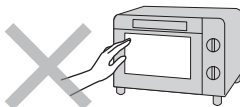


⚠ 注意



高温部に
触れない

使用中や使用直後は、本体やガラス窓などの高温部に触れない



やけどの原因となります。お手入れも本体が冷めてから行ってください。



プラグを
持って抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグ本体を持って引き抜く



コードがショートや断線して感電・火災の原因になります。



物を載せ
ない

本体の上に物を載せたり、本体の下の子き間に物を入れて使わない

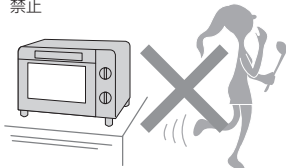


変形したり、火災の原因になります。



禁止

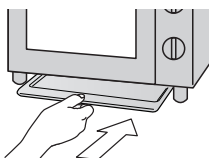
使用中は、本体から離れない



調理物が発火することがあります。離れるときは、必ずタイマー（電源スイッチ）を切ってください。



必ず、パンくずトレイをセットして使用する

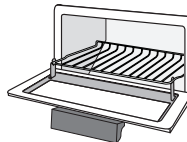


熱によるテーブルの変質や火災の原因になります。



お手入れ

使用後は必ずお手入れをする



調理くずなどが残ったまま使用すると発煙・発火の原因になります。



禁止

不安定な場所やビニールクロスなど熱に弱い敷物の上、壁や家具の近くでは使わない
変色・変形・火災のおそれがあります。



禁止

調理以外の目的で使わない
故障の原因になります。



禁止

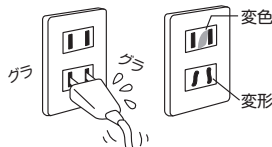
- **バターやジャムを塗ったパンを焼かない**
発火して火災の原因になります。
- **缶詰や瓶詰めを直接加熱しない**
破裂してやけどやけがの原因になります。
- **肉・魚やフライなど油の出るものは、受皿なしで加熱しない**
直接加熱すると発火し、やけどや火災の原因になります。
- **受皿に油や水などを入れて使用しない**
火災の原因になります。
- **蒸し物料理はしない**
水蒸気で故障の原因になります。



知っておいていただきたいこと

- 通電開始や通電終了後、しばらく本体よりピチピチと音がすることがあります。これは金属部分などの熱膨張および収縮によるもので、故障ではありません。
- 初めて使用するときには、少しにおいや煙が出ることがありますが、故障ではありません。ご使用にともない出なくなります。
(気になる場合は、初めて使うときに3～5分程度空焼きしてください。)
- 使用中や使用直後は金属部分やドアが熱くなっていますので、絶対に手を触れないようにしてください。やけどをするおそれがあります。
- 調理中や調理後の熱くなったガラス窓に水をかけたりしないでください。割れてけがをするおそれがあります。
また、傷がついたら使用を中止し、修理を販売店にご相談ください。
- パンくずトレイを必ずセットして、ご使用ください。また、トレイにあるパンくずなどは、取り除いてください。火災の原因になります。
- オーブントースターは、消費電力が大きいため正常でも通電中は、電源プラグが多少温かくなりますが、コンセントとの接触が悪いと異常に熱くなることがあります。コンセントなどの配線器具は、設置後徐々に経年劣化し、最悪の場合は焼損・火災の原因になります。異常を感じたら、下記の点検を行ってください。

【コンセントの点検】



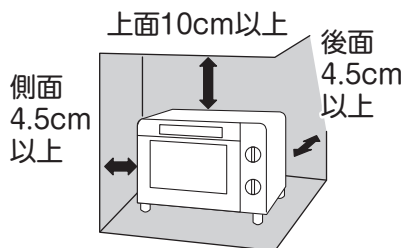
次のようなコンセントは、早めに交換をしてください。

- 電源プラグが軽く差し込めたり、すぐに抜けてくる。
- 変色していたり、変形している。

※良好なコンセントは、電源プラグを差し込むとき、多少力が必要で、差し込んだ後もぐらぐらしません。

- この商品は、一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

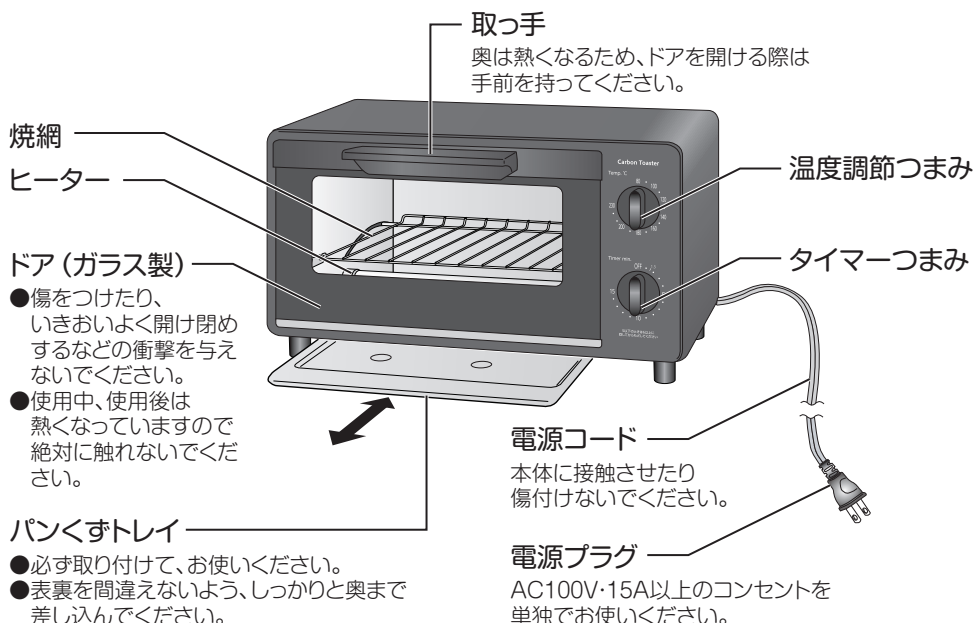
【設置場所】



【消防法 基準適合】

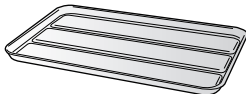
- 壁や家具などの可燃物から図のように距離を離してご使用ください。
- 側面（右側もしくは左側のどちらかの面）は開放してください。
- 肩より高い位置に設置しないでください。調理物を取り出すときにドアに手が触れてやけどの原因になります。
- 不安定な場所やビニールクロスなど熱に弱い敷物の上、天然木のキッチンカウンターの上、壁や家具の近くでは使わないでください。

各部の名称



【付属品】

受皿



- ※汁や油の出るものを調理するときは、必ずご使用ください。
- ※アルミホイルを使うときは、ヒーターにアルミホイルが接触しないように注意してください。
- ※調理物によっては受皿が熱で反ることがありますので、調理物はできるだけ均等に置いてください。
- ※発火や故障の原因になりますので、受皿に油や水を入れて調理しないでください。
- ※受皿を直火にかけたり、他の調理器具に使用しないでください。変形したり破損のおそれがあります。

【ご使用上の注意】

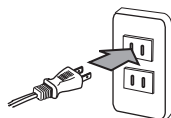
- タイマーつまみを固定したり、回しすぎないでください。発火して火災のおそれがあります。
 - 開けたドアに重いものを置かないでください。本体が倒れたり、落下してけがの原因になります。
 - 紙やプラスチックなど熱に弱い容器を入れないでください。発火して火災のおそれがあります。
 - アルミホイルをパンくずトレイに敷かないでください。故障の原因になります。
 - 本体天面に、ものを載せないでください。載せたものが変形したり落下してけがの原因になります。
- 当機はサーモスタットが組み込まれています。調理途中で自動的にヒーターが消えたり、ついたりしますが、故障ではありません。
- ヒーターが消えたり、ついたりする際に「カチッ」と音がありますが、故障ではありません。

使いかた

初めて使用するときには、少しにおいや煙が出ることがありますが、故障ではありません。ご使用にともない出なくなります。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

必ず15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。



2 調理物を入れる

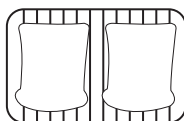
【パン】

1枚



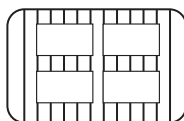
焼網の中央においてください。
(山形パンは山形をドアに向ける。)

2枚



【きりもち】

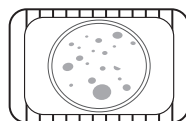
4個の場合



注意：焼網から落下しないように、バランスよくおいてください。

【ピザ】

受皿使用



受皿にアルミホイルを敷き均等においてください。

汁の出るものや形のくずれやすいものなどは、必ず受皿をご使用ください。

3 温度調節つまみを合わせ、タイマーつまみを合わせる

①食品の種類や量に合わせて温度調節つまみをセットください。(P7参照)

②タイマーつまみを合わせてください。

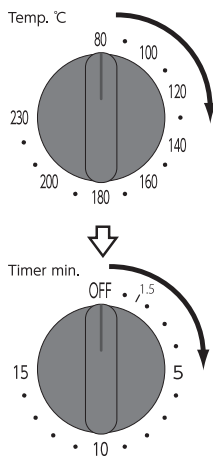
※タイマーを「5」以下に合わせるときは、1度「6」以上回してから戻してください。



警告

- 高さのある調理物や、膨張する調理物はヒーターに接近及び接触して発火することがあります。必ず本体から離れず、様子を見ながら調理してください。離れるときは、必ずタイマー（電源スイッチ）を切ってください。
- 必要以上に加熱しないでください。調理物が焦げたり燃えることがあります。

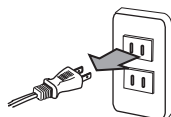
調理中、食品からの水蒸気によりドアが曇ったり、ドアのすきまから煙のようなものが出たりすることがあります。



4 調理物を取り出す

- 「チーン」と音が鳴り、タイマーが切れます。
- 取っ手の奥は熱くなっていますので、手前を持ってドアを開けてください。
- 調理物を取り出すときは、受皿や調理物が高温になっていますのでミトンなどを使ってやけどに注意してください。
- ご使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

タイマーは、切れた後もしばらく「ジー」と音がしますが、故障ではありません。



調理のポイント

【調理時間の目安】

- 記載の加熱時間（予熱のない場合）は、目安として参考にしてください。
- 食品の温度・量・室温などで仕上がりが異なりますので、様子を見て加減してください。

温度調節	受皿	メニュー	1回量	調理時間（分）	ポイント
230℃	／	トースト（6枚切）	1～2枚	1～2.5	1枚のときは時間を短めにする。 すぐに焼き色がつきますので 様子を見ながら調理してください。
	○	グラタン	2皿	10～13	焼き目がついたら完成。
	／	ホットドッグ	2本	10～13	アルミホイルに包む。
	／	きりもち	4個	3～4	調理後ドアを開けないでそのまま数分 置くとさらにふっくらとなります。
	○	ピザ	1枚	2～3	受皿にアルミホイルを敷く。 焼き目がついたら完成。
	○	冷凍ピザ	1枚	6.5～8	
200℃	○	ホイル焼き	2包	13～15	
140℃	○	フライあたため	2～4個	8～9	受皿にアルミホイルを敷く。
80℃	／	バターロールあたため	2個	1～2	

連続調理

ドアを開けて、庫内を冷まして次の調理の準備をしてください。ドアを閉めたままにすると、サーモスタットが動きヒーターが切れやすくなり、調理時間が長くなることがあります。

冷凍パンを焼く

表面に焼き色がついたら電源を切り、そのまま庫内に2～3分入れてください。

きりもちを焼く

- 種類や量によって時間を調整してください。
- 表面が焼けても内部が固い場合は、余熱のある庫内に2～4分入れてください。
- 小さいもちなど、焼網から落下するものは受皿に載せて焼いてください。
このときは調理時間を長めにしてください。

冷凍食品 （市販品） を焼く

- オーブントースター用を使ってください。
※電子レンジ専用の冷凍食品は調理しないでください。発火することがあります。
- サーモスタットが働き、パッケージに記載された時間より長くかかることがあります。

肉や魚を焼く

油が飛び散り、発火するおそれがあります。
直接焼かずに受皿に載せてホイル焼きにしてください。

- ※ドアの上に調理物を載せないでください。
- ※クッキーなど油脂類や糖類を使ったものを必要以上に加熱しないでください。
焦げ付きや発火の原因になります。
- ※トースト調理時にガラスが曇り、出てくる水蒸気が煙のように見えることがあります。

お手入れ

必ず、本体が冷めてからお手入れをしてください。

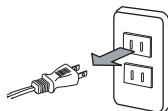
1 電源プラグをコンセントから抜く

お手入れの際には電源プラグは必ず抜いてください。



警告

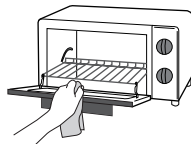
電源プラグをぬれた手で、抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



2 お手入れをする

本体・庫内・パンくずトレイ

※パンくずや調理カスを放置せず
都度お手入れをしてください。



- 柔らかな布に水を含ませ、固くしぼってからふいてください。
- 台所用中性洗剤などをご使用のときはその後必ず布に水(お湯)を含ませ、よく絞ってからふき取ってください。そのあと乾いた布でふいてください。
- パンくずトレイを引き出して、パンくずを捨て、ふきんなどでふき取ってください。
お手入れが終わったら、必ずトレイを元通りに取り付けてください。

焼網・受皿

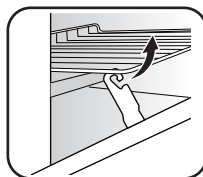
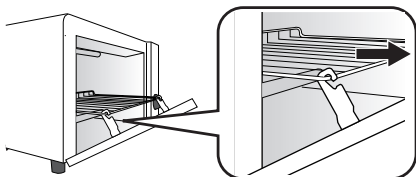
- 受皿は台所用中性洗剤を入れた水(お湯)に浸して洗い、乾いた布でふきます。
※汚れたまま使わないでください。発火のおそれがあります。
- 焼網は乾いた布でふき、こびりついた汚れはブラシなどで取り除きます。
- 焼網の手前を次のように外して、庫内下面などの汚れを布でふき取ってください。
お手入れの後は、焼網を確実に取り付けてください。

焼網の外しかた

焼網の奥は外れません。無理に外さないでください。

①ドアを半開きにして焼網を手前に引く

②ドアフックから焼網を外す(左右1カ所)



※外したあと、パネの
力で焼網が戻ろうと
するので手をはなさ
ないようにご注意く
ださい。



注意

- シンナー・ベンジンや磨き粉、ナイロンたわしなどを使わないでください。
変色・変質・劣化などの原因になります。
- ヒーターを傷付けないよう、注意してください。
使用中にヒーターが割れるおそれがあります。
- ガラス窓に傷を付けたり、無理な力をかけないでください。
ガラス窓が突然割れるおそれがあります。
- パンくずトレイ、受皿は食器洗浄機(乾燥機)を使わないでください。
変色、変形の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

焼きむらができたり、
テーブルが熱くなる

- パンくずトレイが汚れたままになっていませんか。
→使用後は、都度お手入れをしてください。
- パンくずトレイが外れていませんか。
→パンくずトレイを本体に正しくセットしてください。

調理時間が長くなる

- 連続使用していませんか。
→サーモスタットが動作して時間がかかることがあります。
- 庫内が汚れていませんか。
→サーモスタットが正常に動作しません。お手入れをしてください。

扉が閉まらない

- 焼網が外れていませんか。
→焼網を正しくセットしてください。
- 扉の開閉部分や枠に異物が付着していませんか。
→取り除いてください。

ヒーターが点いたり
消えたりする

サーモスタットの働きで、異常ではありません。その際「カチツ」と音がしますが、サーモスタットの動作音で故障ではありません。

調理中ドアが曇ったり
すきまから煙が出たりする

調理物から出る水蒸気によりドアが曇ったり煙の様に見えたりしますが故障ではありません。しばらくすると消えていきます。

上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

こんな症状があったら

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- コードに傷がついたり、触れると動作しなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- ヒーター管が割れたり、ぐらつく。
- タイマーが途中で止まる。



ご使用を中止し、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検をご相談ください。

仕様

電 源	AC100V・50/60Hz	本体質量	約2.7kg (受皿含まず)
消費電力	1200W	本体寸法	約370×212×209mm
電源コード長	1.0m	タイマー	電源スイッチ兼用15分タイマー

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

- 保証期間はお買上げ日より1年間です。

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

- 保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

- Eメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。

受付時間 10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。